

令和7年度 立川市西砂学習館運営協議会会議録（第10回）

日 時：令和8年2月12日（木）午後6時～午後7時40分

出 席：大橋（会長）、加藤（副会長）、小笠原、岩元、能村、森、広瀬（敬称略）

欠 席：内金崎、長谷川

傍 聴：なし

事務局：高木（西砂学習館係長）、水崎（西砂学習館職員）

1 開会挨拶（会長）

（会 長）：令和7年度が残り1か月強となった。にしすな親子塾と地域学校コーディネーターとの情報・意見交換会を成功に収めて、令和8年度につなげていきたい。

1月25日（日）西砂川地区文化会主催の「初笑い！うどん大会」で西砂学習館チームは見事「うどんづくり大賞」に輝いた。予想していなかったのが驚いた。西砂学習館チームの構成メンバーに、去年はイギリス人、今年はアメリカ人が入ってくれて、国際色が豊かだった。日本の伝統行事であり文化でもあるが、外国ルーツの方と一緒にやることでとても良い雰囲気醸し出していた。準備は大変だったことと思うが、楽しい時間をありがとうございました。

まゆ玉飾りも、以前は西砂会館の担当の大人だけが参加していたが、最近子どもたちにも開放されているようだ。そのことにより、伝承行事を守る風土に繋がっていくとうれしい。

（委員A）：西砂川エリアには中国の人も多く住んでいるが、中国の人は来ているのか。

（委員B）：松中団地の中国人は、独自のコミュニティを作っている。餃子を皮から作ったりすることを、かつては地域の人を招いてされていた。今もされていると思う。

（会 長）：うどん大会がきっかけになり、自分たちが異文化に入っていくというのではなく、外国の人が日本の文化を体験するという視点でとらえることがいいかもしれない。

2 協議、報告及び連絡事項

（事務局）：協議、報告及び連絡事項に先立ち、清水庄平前市長が、2月1日に肺炎でご逝去されたことを報告する。

（1）第9回運営協議会（1/22）の会議録（案）について

（事務局）：修正点等がある場合には、2週間以内（2月26日まで）に事務局に連絡をお願いする。（資料1）

（2）令和8年度 西砂学習館運営協議会等について

（事務局）：資料2を基に説明。

（委員B）：西砂学習館の市民公募の枠は決まっているのか。

（会 長）：委員総数の枠は何人か。

（事務局）：市民公募の有無によって総数は変わる。現在の委員数は維持していきたい。

(委員B)：若い人に市民公募委員になってほしいため、声掛けをしてみる。応募の作文を提出する締め切り日は決まっているのか。

(事務局)：詳細は、3月25日号の広報でご確認ください。

(会長)：来年度の地域活性化講座の内容は、次月以降に検討するため、委員の皆さんは企画案を考えておいてください。

(3) 第46回 西砂学習館まつり実行委員会(第1回)について(報告)

(事務局)：資料3を基に説明。

(会長)：参加団体10団体のうち、障害者団体という記載があるが、「害」はこの字でいいのか

(事務局)：印象が悪いため、ひらがなで書いたり違う字を使用している場合があるが、法律ではこの字を使用している。

(4) 第8期 西砂学習館運営協議会報告書の作成について

(事務局)：資料4、8を基に説明。

第8期の委員任期は2026年5月31日までであることから、2年間の活動内容を報告書としてまとめる。記載にあたっては、各学習館で統一ルールに則った形式にするため、事務局で「たたき台」を作成するので、それを基に皆様からご意見をいただきながら仕上げていきたい。

委員の皆様は、令和8年5月30日までにメールや資料8の用紙を使う等して「2年間の活動に対する感想・意見」をご提出ください。

(5) 地域学習館運営協議会交流会について

(事務局)：資料5を基に説明。

(会長)：交流タイムの「『お祭り』」とは何を指すのか。学習館まつり(西砂学習館まつり、すわっ祭、たかまつり、みんなの錦まつり、かわせみ祭)なのか、まつりと名がつく地域活性化講座(たかまつり、プレ錦まつり、かわせみカフェ)なのか。学習館まつりであれば、西砂学習館運営協議会では取り組んでいないということになる。

(事務局)：学習館まつりのことだ。

(会長)：他館のように大学生など若者を取り込んで企画・運営することが西砂学習館では距離の問題があり難しい。せめて交通費は出してもらえないものか、地域的な問題で学びや文化に差があってはいけないと思う。C委員が以前話されていたように、西砂学習館を拠点にした産業まつりができないかと考えている。そのことが、中学生の職場体験や小学生のまち歩きに生きるかもしれない。長いスパンで地域の産業と結びつくイベントを実現したい。そのため、西砂会館でのイベントのブースで名刺をもらってある。いつか使えるときが来るといい。

(委員C)：学習館まつりの視点であれば、地運協は積極的に関わっていない。学習館まつりは、学習館利用団体による学びの成果発表の場だ。利用団体にとって、大人の文化祭としていい刺激になっていて、それはそれでいい。地運協として長い将来を考えれば、少しでもまつりに関わる活動ができたらいと思うので、交流会では少し

ずつ進めていくという気持ちを熱く語るしかない。

(会 長)：学習館まつりは利用団体の発表の場であり、新しい人を取り込むという、まつりの一つの形態だ。地運協としてのまつりはどのようなものなのかを考えたい。

(委員B)：地域学習館は、生涯学習の地域の拠点としての位置づけだ。それを、学校教育と社会教育の接点、流れで考えれば、例えば立川第七中学校の卒業生が、さまざまな才能を持って音楽や絵画などの芸術活動をしているから、そのような地域の若者の発表の場を作るのはどうか。地域にいる若者を知ってもらう機会になるだろう。新たに場を設けなくても、まずは、学習館まつりに地域の若者や子どもの作品展示を組み入れることからスタートすれば、ひょっとしたらそんなに難しくないかもしれない。地運協交流会では、学習館まつりは40回以上実施してきた。今後は、もう少し地域の若者の発表の場としての視点を持っていきたいと語ってはどうか。

(委員D)：そのような場を設ければ、学習館に来たことがない人が来るきっかけになるかもしれない。

(委員A)：近隣の音楽教室等の発表会も考えられる。

(会 長)：先日、羽村のプリモホールゆとろぎの「子ども国際交流音楽祭」に行ってきた。羽村市・昭島市・奥多摩町・檜原村の小中学生で編成する合唱団がウィーンの音楽家の演奏で交流合唱をしたり、西多摩出身の若手演奏者が歓迎演奏をしたりしていた。

(委員E)：音楽教室は経営的に厳しいので、学習館で発表会ができればいいと思う。松中小学校のクラブ活動の発表も考えられよう。発表の場を求める子ども達は結構いるし、大人が参画すれば世代間交流や多文化共生にまでつながるかもしれない。

(会 長)：どのような方法を取ればそれができるのか。

(委員E)：児童館で開催している合同フェスティバルであれば、主催者が方針を決めてから進めていく。

(会 長)：若者の発表の場を手助けすることは、今後検討したい。

(委員B)：学習館まつりの実行委員会にも将来的には若者に入ってもらいたい。

(委員F)：サマーイベントに参加してくれた児童をつなげていくことも考えたい。その子どもたちがいずれ運営を手伝ったりして、先輩としてつながりを活かす機会があればと思う。

(会 長)：西砂学習館が求めている学びの循環（西砂学習館で学んだ子どもたちが成長して地域に戻ってきたときに、学んだことを地域に還す）が築けるといいと思う。大きな流れの中で地域が豊かに育ってほしい。

(委員F)：他館の地運協では、学習館まつりに積極的に関わっているところもあるようだ。

(委員D)：学習館で活動している芸術関係の子どもの団体はあるのか。

(事務局)：絵画、体操等がある。

(6) 生涯学習関係職員研修会について

(事務局)：資料6を基に説明。

地運協委員さんも職員も、立川市出身者が少なくなっており、立川市や旧砂川町の歴史や発展の経過を十分に理解していない人が増えている。生涯学習に携わる者

として、立川市の基礎的・基本的なことを豊泉喜一さんから学ぶ機会とする。

(会 長)：車は学習館から出してもらえるか。

(事務局)：当日は準備があり、早く会場に行く必要があるため難しい。

(委員C)：砂川学習館に駐車場はあるのか。

(事務局)：ある。

参加いただける方は、3月6日(金)までに事務局に連絡をお願いする。

2/12時点：大橋会長、加藤副会長、森委員、広瀬委員

(7) 地域学校コーディネーターとの情報・意見交換会の日程について (3学期分)

(事務局)：資料7を基に説明。

本日(2月12日)、各校のコーディネーターには日程調整表をメール等でお送りした。地運協委員の皆さんは、2月26日(木)までに希望日程をお知らせください。

(8) 各委員からの報告及び連絡事項について

(委員)：西砂川地区文化会では、1月25日西砂会館で「初笑い！うどん大会」を開催した。8団体40人の参加を得て楽しく開催できた。小さいお子さんのほとんどが外国の方で、国際色豊かな大会だった。来年度の事業計画と反省会のため、明日(2月13日)夜に役員会を開催する。音楽会も実施したいのでご協力をお願いします。学習館利用団体の「コーラス槐」は、学習館まつりで3曲発表する。3部合唱で難しい曲だが、毎週のように自主練習をしてチャレンジ中だ。

3月12日(木)には、西砂寿教室(会員57人)の修講式を迎える。生涯学習の一環としての取組のため、関わることができうれしく思っている。

(委員)：来年度以降も西砂児童館は「ワーカーズコープ」が運営できることになった。ただ、人事は動くので新しい職員が入って来て活性化してきている。

3月に向けて、学童保育所の入所説明会を行う。定員は70人だが待機児童が想定される。松中小学校は待機児童が多い傾向だ。3月3日(火)西砂児童館地域交流会。子ども達の様子や来年度以降の児童館の事業についてお話する。来年度から始まる5か年は、新規事業、特に地域に出ていく事業を打ち出している。児童館の空白地域と言われる柏町、砂川町等のエリアへのアプローチの仕方、児童館同士の交流等にも目を向けつつ、西砂児童館の運営を安定させるという、外と中に目を向ける5か年になる。お力添えをいただくことがあると思うが、よろしく願います。3月15日(日)年間最大の「西砂子どもまつり」を開催する。多くの地域団体のご協力を得て、にぎやかに年度最後の行事をやっていききたい。現在チラシを作成しており、3月1日(日)から申込受付を開始する。

インフルエンザによる学級閉鎖が多発している。

(委員)：年始に転んで背骨を圧迫骨折した。今日(2月12日)から公式なイベントの活動を開始する。市民推進委員会では、来年度10~12月の講座の検討を始めている。

(委員)：きりり春号が、3月11日に発行される。特集では国文学研究資料館の教授2人を採りあげた。1人は短歌について、もう1人はフランス人で「俳句との関わり」についてインタビューした。裏面は、ぶらっと街歩き、立川季節の花めぐりの記事だ。地図を載せて、ここにはこんな花が咲くというような内容を予定している。ま

た、表紙もガラッと変わるので期待してください。

(委員) : 青少健では、無事に賀詞交歓会が終わった。3月21日(土)青少健の研修会のために、昨日(2月11日)に実地踏査に行った。午前中は柴崎学習館で廃油リサイクル「SAF」の講演会があり、午後は柴崎分水などの街歩きをした後、歴史民俗資料館で学芸員からの話を聞く。

西砂パソコン倶楽部では、2月17日(火)~19日(木)にExcel講座を行う。また、3月には「初めてでも安心!写真編集の第一歩」講座を行う。すぐに定員に達したとのことなので、がんばりたい。

民生委員の新任研修は、以前は会場まで行って受講していたが、コロナ禍以降は動画で視聴できるようになった。難しい単語もあるが、それぞれ頑張っていていきたい。

(委員) : 一番町傾聴クラブで、団体企画型講座に申し込んだ。先生と日程の調整に苦労しているところだ。グループワークもあるので、会場は砂川学習館の講堂かアィムを希望している。

(事務局) : 2月15日のにしすな親子塾は、インフルエンザの流行が気かりだが、無事に実施できるように準備を進めている。

昨年、錦学習館では地運協交流会の担当を務めた。テーマは「わが学習館の推しを語ろう」というものだったが、西砂学習館の委員さんは事前に意見をすり合わせて臨まれていた。その後の錦の地運協で「各学習館の運営協議会で特徴があるね」と話したことを思い出した。

(事務局) : 1月31日、アィムホールで教育フォーラムがあり、中学生広島平和派遣学習について、参加した生徒の皆さんが発表をした。当日、インフルエンザに罹患し参加できない生徒が1名でたが、代わりの生徒に発表してもらい、無事に終えることができた。生徒の皆さんに感謝申し上げる。

(会長) : 2月7日「立川市青少年健全育成研究大会」に参加した。前半の「子ども委員会」では自転車マナーについて市長に提案していた。「雨合羽の自動販売機の設置」の提案に関して、市長は子どもに過度な期待は持たせないが検討すると回答し、意見をきちんと預かるという姿勢を取られていた。

後半は「居場所づくりを解きほぐす」と題した認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ公共政策ディレクターの加賀大資さんの講演だった。子どもの居場所というと「場所」だと思っていたが、子どものアンケートによると居場所とは「人」「サークル活動」等が記されているようだ。それが居場所になるのだと新たな観点での話で、いいお話だった。

(委員) : 2月1日「議員と語ろう」に参加した。テーマは、自主的・自律的に学ぶ場をどのように見つけるかだった。委員は、学校教育しか考えていなかったようだが、自分は生涯学習の話しかできないので、西砂学習館での生涯学習の話したら好評だった。議員は生涯学習のことを意外と知らない。

驚いたのは、校長経験者が「現場が疲弊している」という話をしたら、オブザーバーの校長経験者が「疲弊していると初めて聞いた」と言ったことだ。現場との認識のずれがこんなにあるのかと思った。分科会は4つあり、今年の文教委員会の参加者は5人だったが、去年は20~30人出席し盛況だったそうだ。

3 その他

(1) 委員の辞任について

(事務局)：委員の1人が東大和に転居されたとA委員から伺った。ご本人から辞任の意思が示されたことから辞任願をお送りした。2月7日(土)に事務局に辞任願が届き受理し、辞任が了承されている。

(会長)：長い期間活動していただき、御礼を申し上げたい。

(2) 学校だよりについて

(事務局)：西砂小学校、松中小学校(令和8年2月分)の学校だよりをお配りした。立川第七中学校は未発行とのことだ。

(会長)：目を通していただいて、少しでも学校の状況が分かったうえで3月の意見交換会に臨んでください。

(3) 次回(第11回)の日程について(案)3/11(水)、12(木)、13(金)のいずれか

第11回運営協議会の日程 *令和8年3月12日(木)18:00~

(会長)：今年度も残り少なくなってきた。春を待ちつつ令和7年度をまとめていきましょう。

<配布資料>

- ・資料1 令和7年度 立川市西砂学習館運営協議会会議録(第9回)(案)
- ・資料2 令和8年度 西砂学習館運営協議会等について
- ・資料3 第46回 西砂学習館まつり実行委員会(第1回)について(報告)
- ・資料4 6.西砂学習館運営協議会(たたき台)
- ・資料5 令和7年度 地域学習館運営協議会交流会次第
- ・資料6 令和7年度 生涯学習関係職員研修会の開催について(通知)
- ・資料7 【令和8年3月】情報・意見交換会 日程調整表
- ・資料8 地域学習館運営協議会(第8期)報告書の作成について(依頼)

(資料番号なし) 学校だより 西砂小学校、松中小学校